

令和6年度 ともの家 事業報告

—はじめに—

4月1日の入社式では、仲間1名、職員2名を迎えるました。新たな仲間が入ることは、卒業と言う形（無期限）のない「ともの家」にとって、刺激と同時に、新鮮な気持ちで春を迎える貴重な体験です。清水特別支援学校を卒業したばかり仲間の若さ溢れるパワーと、彼女の持っている明るさに、仲間たちは、エネルギーをもらいました。

入職した2名の正規職員のうち、1名は早期に退職し、その補充ができないまま、突っ走ってきました。1にも2にも、人手不足。求人募集にひとつの問い合わせもないと言う前代未聞の事態です。それでも、仲間たちに迷惑を掛けないよう、職員一人ひとりが何役も熟しながら、乗り越えてきました。迷惑を掛けずにと言いながらも、職員の病気や家庭の事情等で、休みの職員が多い日は、ヒヤリとする場面も多く、とにかく声を掛け合おうことを確認してきました。職員が少ない日は、仲間に頼る部分の多く、より信じます。そしてそれに応えてくれる（協力してくれる）仲間の姿に、成長を感じさせてもらいました。

そんな状況下で、事故や怪我無く安全に1日を過ごすことが目的にならないよう、日中作業、活動の内容にも工夫を凝らし、仲間たちが、これやりたい、やりたくない、変更したなどの選択が出来るようになったこともあり、現場からは活気感じられました。

9月下旬、35年と言う年月を「ともの家」と歩んだ仲間を突然失いました。受け入れられない日々が続きましたが、お別れ会や彼が生前書きためていた多くの画を、絵画展と言ふ形でお披露目する会を開催し、次第に天国で見守っていてくれるはずと信じ、前に進むことが出来るようになりました。今でも昼休みに石橋君の動画を観ている仲間はいます。

人手不足は今後ますます緊迫した状況になるでしょう。「経営か理念か」ではなく、理念を継承しながら、安定した経営を行うためにどうしたらいいのか、迷走は続きそうです。

—具体的計画に沿って—

1. 理念の浸透と継承

職員会議には「理念」を確認する予定でしたが、検討する内容が多く、時間を作りませんでした。しかし、日々の実践は理念に沿い、行われてきたと思います。仲間、保護者の高齢化、また親亡き後の暮らしの支援、他事業所のグループホーム利用の仲間への支援など、範囲が広くなりつつありますが、ともの家で、できることできることを見極め、「ここまで」と言う線引きを行うよう努力しました。

2. 理念達成のために 私たちの使命

○地域発信、啓発事業として掲げた映画会は、場所の関係で次年度に開催することになりました。また、お店のマルシェについては、第2活動室の建設で場所の確保が出来ず、開催しませんでした。次年度は、活動室の中も使って、小規模ではありますが、他の団体といっしょにイベント開催が出来ればと考えています。その他については、計画通り進めました。しかし、次年度は人手不足が加速し、日々の実践現場に費やす時間が増えると思われ、外部活動が出来るか、不安材料です。

○保護者会には3回出席し、社会の情勢や仲間の様子などお話しさせて頂きました。職員会議も計画通り開催、仲間への周知も、怠る事なく行ってきたと思います。

○活動室は計画通り6月に完成し、月の半分はヨガやダンスなど少人数で行う活動に使用しています。生活介護の仲間にとって、徒歩5分の移動も活動内容をゆたかにする導入の時間になります。車椅子の仲間が多く、人手がないときは移動を断念することもありました。

○グループホーム「とも」の移転のための土地購入について

SUNに隣接している望月さん宅の土地購入について、何度もお電話でお話をしたのですが、姉弟の話し合いが難航しているらしく、購入には至りませんでした。次年度に持ち越しです。

○環境

職員一外部研修への参加が出来ない状況のため、内部研修を強化しました。土曜日開催や勤務が終了後の17時半以降としましたので、全員参加は難しいのですが、高め合うことは出来たと思います。

仲間→生活介護

仲間が得意としていた「興津螺旋」のネジの袋詰めの作業がA.Iの導入によりなくなってしまい、工賃が発生する作業が製菓のみとなってしまいました。下請けに内職を卸している静岡の会社を紹介して頂き、2回内職仕事をもらいました。誰でもできる一番簡単な仕事と言われ預かったのですが、職員が3日間夜間残って何とか納品に間に合わせると言う結果になってしまい、内職仕事は諦めざるを得ませんでした。生活介護の仲間たちの日中活動は、作業の柱がないと、マンネリしがちです。「今日もよかったです。あしたも・・・」に繋げる気持ちを持ってもらえるようにと、職員の手腕が問われる日々でした。一方、慌ただしさが軽減したこと、また健康活動が充実したことと言えます。

就労B

クッキーもパンも、そしてラスクも、仲間の力のおよぶ範囲、職員が残業せずに製造できる範囲に絞り、作業を行いました。もちろん忙しい日もありますが、チームワークで乗り越えてきました。プラスαの部分（特に余暇）に関しては、「なかまかいぎ」の中で決め、実施しました。

グループホーム

個々の暮らし方は自由。これが基本です。しかし、小さくても集団生活なので、ルールは守らなければならないし、仲間の安全を考えると、希望が叶わないこともあったと承知しています。本人主体の生活を放任と勘違いしないよう、世話人の意識や質の向上には、今後も気を抜かず進めていく必要があると感じています。

□職員研修報告□

1. 内容について

①外部研修参加について

年間を通して、外部研修に参加する予定だったが、職員不足などで外部の研修に参加することが難しい現状であった。そのため、事務や防災など限られたテーマでだけの外部研修への参加となった。
(別紙研修参加一覧参照)

②内部研修について

外部研修への参加が難しい現状があったため、9月からテーマを決めて内部研修を開催することにした。テーマとしては、年間研修計画の目的に沿ったテーマとなるように考えて設定し、外部から講師としてきてもらうなどして企画した。後半の3回は、仲間の事例検討を行い、仲間の理解を深め、より良い支援へと活かせるように学び合ってきた。

③そのほか

『みんなのねがい』『手をつなぐ』『tomo』などの回覧を行い、大切な知識や情報などの共有を図ってきた。

2. 来年度に向けて

来年度も外部研修への参加は難しい現状が続くと考えられる。現在、行っている定期的な内部研修をテーマや方法を検討しながら引き続き行なっていきたい。

3. 実施研修

令和6年度 研修参加一覧		
<外部研修>		
月日	研修名	参加者
7月19日（金）	きょうされん専門講座 一人ひとりに寄り添う支援とは	米山
7月25日（木）	きょうされん 未来カフェ2024 災害への備え	真也
7月31日（水）	きょうされん 事務チャンネル	滝戸・進藤
11月6日（水）	福祉医療機構及び静岡県社会福祉事業共済の退職金手当共済制度説明会	漆畠
11月8日（金）9日（土）	きょうされん全国大会inしが	長島・横井 梨紗子・泉
12月12日（木）	きょうされん事務チャンネル マイナンバーカードの健康保険証	進藤
1月18日（木）	社会福祉施設等職員防災研修会	真也
1月24日（金）～25日（土）	きょうされん 経営管理者総合研修	滝戸
<内部研修>		
月日	研修名	
9月21日（土）	みんなのねがい読書会	
10月5日（土）	優生保護法裁判を通して	
11月30日（土）	きょうされん全国大会報告会	
12月14日（土）	リーフの実践報告	
1月30日（木）	事例検討 Wさんについて	
2月27日（木）	事例検討 Kさんについて	
3月27日（木）	事例検討 Sさんについて	

□全体防災報告□

6月の新活動室（通称パプリカ）が完成しました。当初の予定通り、防災拠点として活用することを踏まえ、防災用品の整理と引っ越し、訓練方法の見直しや訓練を行いました。夏の合同訓練では、初動の訓練の後、生活介護のGHの仲間や迎えが間に合わなかった仲間達と共に、就労が設置したパプリカの対策本部に合流する流れの訓練を行い、大きな問題点もなく無事終えることができました。生活介護ではほぼ毎月、訓練や防災に関する活動を取り入れて仲間の意識を高め、就労でも訓練前後に話し合いを設けて実のある訓練を積み重ねてきました。夏の合同訓練での柔軟な対応は、これまでの訓練が身についてきた成果だと思います。今後も訓練中に上がった疑問点や改善意見を基に見直しや変更の対応をしながら、防災活動・避難訓練を行っていきたいと思います。

一方、安否コールの返信率には少々問題があり、毎回10～15人の未返信者が出ています。その人たちに向けてその後に2度ほど追加で安否コールを流しましたが、「気づいていたけど、後で返信しようとして忘れてしまった」「そもそもメールに気付かなかった」「(そのアンケートに対しても無回答)」等があり、練習で流している安否コールにも細かく家族の様子や自宅周辺の状況を報告してくれる意識の高い方とはかなり差があります。返信率が上がっていくことを期待し、継続して安否コールの練習を続けていきます。

今年度は秋に消防員を呼んでの講習を行いました。水消火器を使っての消火訓練は短時間で終わってしまいましたが、来年度はAEDの機能訓練も考えて行こうと思います。夏に防災リュックの持ち帰り及び確認、防災備品の定期的なチェックを行いました。

□ともの家通信発行報告□

ささえる会の会員の皆さん、法人関係者、ともの家関係者に対して状況をお知らせる目的は果たしました。内容については、多少変更もありましたが、期日に遅れることなく郵送しました。1月には郵便料金の値上げがありました、法人だより（年4回）ともの家通信（年3回）計7回の発送費用を、少しでも減らすために、R7年度は、法人だよりと通信の発行日をなるべく合わない方向で計画を立てたいと考えています。